

**公立大学法人横浜市立大学附属2病院 診療材料等の物品管理・搬送等業務委託  
公募型プロポーザル特定結果について**

横浜市立大学附属2病院では、「公立大学法人横浜市立大学附属2病院 診療材料等の物品管理・搬送等業務委託」について、公募型プロポーザル方式により、受託候補者を特定しました。

令和3年11月18日の「提案書」締切までに3者から応募があり、令和3年11月19日に第一回「公立大学法人横浜市立大学附属2病院 診療材料等の物品管理・搬送等業務委託に関するプロポーザル評価委員会（以下、評価委員会という。）」を開催しました。また、令和3年11月26日に第二回評価委員会を開催し、3者によるプレゼンテーションを実施しました。

評価委員会での評価の結果を受け、公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター第一契約審査会（令和3年12月9日開催）にて、受託候補者として特定しました。

**1 契約の相手方**

協和医科器械株式会社

**2 評価結果**

提案者	評価点数
協和医科器械株式会社	1,814 / 2,200
B社	1,536 / 2,200
C社	1,420 / 2,200

※評価委員は11名（全員出席）

※評価委員会事務局：医学・病院統括部 医学・病院企画課 物品管理担当（附属病院）  
管理部 経営企画課 物品管理担当（附属市民総合医療センター）

- ・第一回評価委員会（令和3年11月19日開催）
- ・第二回評価委員会（令和3年11月26日開催）

**3 評価基準**

評価項目	評価配点	評価のポイント
SPD（医療材料物流管理）業務運営の基本的考え方	20	<ul style="list-style-type: none"><li>・提案内容は、仕様書の内容と合致しているか。</li><li>・診療材料等の購入、在庫管理、回収搬送等の業務の一元化を、効率的・効果的に行える物流システムを構築しているか。</li></ul>
診療材料等の調達	40	<ul style="list-style-type: none"><li>・購入単価の低減、同種同効品の統一など、実現可能な経費削減の提案となっているか。</li><li>・受託者に所有権がある預託在庫方法の対象が、定数管理診療材料、院内倉庫在庫など、どのような範囲に及んでいるか。</li><li>・必要最小限の調達を行い、在庫スペースの増や欠品、直納品の消費期限切れに繋がらないようにしているか。</li></ul>

院内物流管理業務	70	<ul style="list-style-type: none"> <li>・搬送計画や方法、人員体制について、確実に履行可能な内容となっているか。</li> <li>・定数管理、在庫管理、期限管理等について、確実に履行可能な内容となっているか。</li> <li>・手術に支障のないよう、適切に発注、補充、管理を行える体制となっているか。</li> <li>・患者ごとに使用したすべての診療材料を把握し、データベース化する仕組みを構築しているか。また、運用の実績はあるか。</li> <li>・使用した診療材料のデータと医療費の請求データを比較・確認するなど、請求漏れの防止に繋がる提案内容となっているか。また、運用の実績はあるか。</li> <li>・ピッキングリストの見直し、診療材料の標準化、不動在庫の減について、実現可能な提案内容となっているか。また、運用の実績はあるか。</li> </ul>
自由提案	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・附属2病院の統合を見据えた提案ができるか。提案は実現可能で、有益なものであるか。</li> </ul>
その他（他院での業務実績、人員体制、提案金額）	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の速やかな供給体制が確保されているか。</li> <li>・病床数、手術件数等を基準として、附属2病院と同等以上の実績を備えているか。</li> <li>・本業務の遂行に必要な要員の配置が予定されているか</li> <li>・管理・バックアップ体制及び研修体制は適切か。</li> </ul>

※配点は評価委員1名あたり200点：200点×11名＝2,200点（満点）